令和２年度第45回冬休み子ども読書感想文と手紙作品コンクール（主催：茨城県読書推進運動協議会、後援：茨城県教育研究会学校図書館研究部、茨城新聞社、茨城県立図書館）の入賞者が決定いたしました。

県内の幼児、小学生、中学生に、それぞれ７点の課題図書の感想文と手紙作品を募りましたが、コロナ禍にもかかわらず191点の応募がありました。その中から、最終審査の結果、最優秀賞５点をはじめ、優秀賞、優良賞、佳作に多数の作品が入賞しました。入賞者の皆さん、誠におめでとうございます。また、残念ながら入賞されなかった皆さんにも、その努力に対して心からの称賛を贈りたいと思います。

幼児の部、小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部、中学校の部の５部門でのそれぞれの作品を読ませていただくと、発達段階の違いはありますが、読書をとおして感じ取ったことを表現豊かにまとめていました。幼児の部や小学校低学年の部の子供たちは、登場人物と自分とを比べたり重ね合わせたりしながら、手紙形式で登場人物や家族への思いを素直に表現していました。また、学年が上がると、読書をとおした気付きをもとに自分の「今」を見つめ、未来へ目を向けて前向きな決意や希望を述べていました。読書をとおして得られた新たな気付きや発見を、自分の感性や想像力を発揮しながら文章に書き表す経験は、自分自身の成長につながることと思います。

このコンクールは幼児から中学生まで幅広く応募できるので、ぜひ毎年応募していただきたいコンクールです。来年も、多くの方々の応募をお待ちしています。

審査委員長　茨城県教育研究会学校図書館研究部長
水戸市立赤塚小学校長　　橋本　浩志